

令和4年度夏季展 「こどもと楽しむ永青文庫」

Eisei Bunko Museum Exhibition for Children & Families

夏休みは永青文庫にいてみよう！

肥後熊本 54 万石を治めた細川家から歴代の美術品などを受け継いだ永青文庫。江戸時代より続く下屋敷跡で、大名家の伝来品を鑑賞できる東京で唯一の美術館です。

大名という男性ばかりが目立ちますが、その家族には女性やこどもが大勢いました。ではこどもたちは、大名家の中でどのように暮らしていたのでしょうか。永青文庫の膨大な所蔵品の中には、細川家のこどもの肖像画、こども用の小さな能装束、写真など、こどもに関する様々な資料が残されています。本展では、そうしたこどもに関する作品を導入として、藩主所用の甲冑や参勤交代の絵図、大名調度などを合わせて展示することで、こどもにも分かりやすく大名家の暮らしぶりを解説します。

また、夏休みの自由研究のヒントとなるよう、小中学生向けの無料ガイドブックを発行します。夏休みに親子で楽しめる展覧会です。

永青文庫は
熊本ゆかりの
美術館



小学生・中学生には、
永青文庫を楽しむための
ガイドブックを
プレゼント！



夏休みの
自由研究のヒント
になるかも！？



©2010 熊本県くまモン 協力 銀座熊本館

こどもは
もちろん大人も
楽しめます！



右上から時計回りに

- 「栗色革包紺糸射向紅威丸胴具足」11代細川斉樹所用、江戸時代（19世紀）、永青文庫蔵（熊本県立美術館寄託）
- 「狂言面 狐」江戸時代（18世紀）、永青文庫蔵
- ◎重要文化財 津田友正作、安井算哲識「天球儀（渾天新図）」寛文13年（1673）、永青文庫蔵
- 「衛府太刀拵 九曜紋金装」江戸時代（18～19世紀）、永青文庫蔵
- ◎重要文化財「織田信長黒印状」細川忠興宛、(天正9年力（1581））2月17日、永青文庫蔵（熊本大学附属図書館寄託）
- 10代細川斉茲「融姫像」文化10年（1813）、永青文庫蔵
- 「狂言面 猿」江戸時代（18世紀）、永青文庫蔵

■ 開催概要

展覧会名	令和4年度夏季展「こどもと楽しむ永青文庫」
会期	2022年7月30日(土)～9月25日(日)
会場	永青文庫(東京都文京区目白台1-1-1)
開館時間	10:00～16:30(入館は16:00まで)
休館日	毎週月曜日(ただし9/19(月)は開館し、9/20(火)は休館)
入館料	小学生・中学生以下は無料 一般1000円、シニア(70歳以上)800円、大学・高校生500円 ※障害者手帳をご提示の方及びその介助者(1名)は無料。
主催	永青文庫
特別協力	熊本県立美術館、熊本大学附属図書館、熊本大学永青文庫研究センター、ホテル椿山荘東京
展示内容	甲冑、馬印、屏風、掛軸、能装束、狂言面など

※お子さまの身長によっては見づらい高さの展示ケースがございます。
※ご来館にあたって、事前予約は必要ありませんが、混雑時はお待ちいただく場合がございます。
※マスク着用(2歳以下のおさまは任意)と、入館時に手指の消毒をお願いいたします。
※当館の新型コロナウイルス感染拡大予防対策については、ホームページをご覧ください。
※新型コロナウイルス感染症の状況により、開館時間の変更または臨時休館となる場合がございます。



永青文庫は大名・細川家の下屋敷跡にあり、昭和5年(1930)に建てられた細川家の家政所(事務所)を展示施設としています。

一般
むけ

永青文庫とは

永青文庫は、肥後熊本54万石を治めた細川家の下屋敷跡にある、東京で唯一の大家の美術館です。細川家は南北朝時代の頼有(1332～91)を始祖とし、近世細川家の初代藤孝(幽齋、1534～1610)と2代忠興(三齋、1563～1645)が大家の礎を築き、3代忠利より240年にわたって熊本藩主をつとめました。永青文庫の名称は、中世細川家の菩提寺である建仁寺塔頭・永源庵の「永」、初代藤孝の居城・青龍寺城の「青」に由来します。所蔵品は、細川家伝来の美術工芸品・古文書・刀剣・禅画・近代日本画など、国宝8件・重要文化財34件を含む9万4000点にのぼり、テーマごとに展覧会を開催しています。永青文庫の建物は、90年前に建てられた細川家の家政所(事務所)を展示施設としたもので、細川家下屋敷の池泉回遊式庭園が活かされた「文京区立肥後細川庭園」が隣接しています。

こども
むけ

永青文庫ってなに？

江戸時代に熊本でお殿さまだったのが細川家。

細川家には、江戸にもお屋敷がありました。そのお屋敷だったところに永青文庫があります。

「文庫」には「本などをしまっておく所」という意味もありますが、細川家が大切にしてきたものを、みなさんにお見せしている美術館です。

● どこにあるの？

東京の目白や江戸川橋、早稲田の近くだよ。となりに大きな池のあるお庭(肥後細川庭園)もあるよ。

● 細川家は700年も昔から続いているんだ。

● 細川家は、お手紙、きれいな宝物や絵、本などを昔からとても大切にしてきたよ。

■ 永青文庫の重要文化財 2 点を公開

永青文庫では、細川家伝来の美術工芸品や歴史資料、そして設立者である 16 代細川護立 (1883 ~ 1970) の蒐集品を所蔵しています。その総数は、国宝 8 件・重要文化財 34 件を含む 9 万 4000 点にのぼります。本展では重要文化財 2 点を公開します。



社会 **織田信長にきれいな布をプレゼント**

重要文化財「織田信長黒印状」

織田信長が発給した書状は 800 点程度知られていますが、永青文庫には 59 通が残されています。1 か所に伝来した書状としては最多で、すべて重要文化財に指定されています。天正 10 年 (1582) の本能寺の変まで 9 年にわたる書状から、信長の動静を追うことができます。細川家初代藤孝と 2 代忠興は、信長にたびたび贈り物をしており、端午や重陽の節句に帷や小袖のほか、淀の鯉も贈っています。本書状は、「唐錦一卷」を贈られた織田信長からの礼状。信長は唐錦について「探していたが見つけれなかった。驚いた。」と記しており、喜ぶ様子が伝わります。



理科 **江戸時代の星空の模型**

重要文化財「天球儀 (渾天新図)」

天球儀は、球の表面に、星座や赤道などを記した模型です。天球を外側から見た状態で作られているので、地上から見る様子とは反対になっています。小説や映画で知られるようになった渋川春海 (1639 ~ 1715) は、江戸時代の天文学者で、囲碁を家業とする安井家に生まれました。神道や天文学を学び、日本人による最初の暦「貞享暦」を完成させています。著書も多く、天球儀、渾天儀、星図の製作も行いました。渋川春海が考案した天球儀は国立科学博物館などにも残されていますが、永青文庫所蔵の天球儀は大型の銅製であり、支柱や刻銘のある台が揃って残されている点でも貴重です。

■ 展示作品紹介 熊本藩 54 万石の大名・細川家

現在の細川家は、藤孝 (幽斎) を初代として戦国時代に始まります。3 代忠利のとき肥後熊本 54 万石を与えられ、強力な外様大名として幕末に至りました。



武道 **お殿さまを守る鎧**

「栗色革包紺糸射向紅威丸胴具足」

11 代細川齊樹所用

細川家 2 代忠興が、50 回にも及ぶ自らの戦の経験を活かして考案した具足形式「三斎流」は、関ヶ原合戦に勝利した「御吉例の具足」として、歴代当主の甲冑に採用されました。その特徴は、槍と鉄炮を用いた戦国時代の戦闘に対応できるよう、軽量で簡素につくられていること。また、胴は薄い鉄板を黒や栗色など地味な色合いの革で包むのに対し、敵側に向ける左腰部分の草摺は群衆の注意を引くよう多くが鮮やかな色で飾られています。目元まで保護できるヘルメットのような頭形兜に、山鳥の尾羽を束ねた頭立を挿すのも特徴のひとつ。この齊樹所用の甲冑は、そうした「三斎流」の典型をよく示しています。

武道 **馬印は大將のしるし**

「大馬印」9 代細川治年所用

馬印は、武将の馬の側に立てて所在を示す目印。「有」の字は、細川家の始祖・頼有からとったもの。永青文庫には、「有」字の大馬印が複数伝えられており、歴代が踏襲していました。永青文庫には、「有」字の馬印の他、細川家の家紋「九曜紋」の下に二本線 (引両) を表した幟も残されています。



■ 展示作品紹介 大名家のくらし

永青文庫が所蔵する細川家伝来品は、武器武具・能道具・茶道具・書画・調度類・歴史資料などたいへん多岐にわたります。藩主や奥方の遺愛品として伝わる作品も多く、大名家の暮らしを今に彷彿とさせます。大切に保管されてきた膨大な作品群は、今も調査研究が続けられ、永青文庫や熊本県立美術館などで継続的に公開されています。



家庭科 えどじだい 江戸時代のピクニックセット

きくまきえさげじゆう
「菊蒔絵提重」

提重は、行楽に用いる携帯食器セットで、桃山時代頃より一般的になりました。食べ物を入れる重箱、盃のほか、一对の徳利などが収められています。全体を菊や流水の緻密な金蒔絵で表わしており、秋の行楽にふさわしい、豪華な大名家の逸品です。



理科 との お殿さまの自由研究!?

こんちゆうしよかづ しげかた
「昆虫胥化図」 8代細川重賢

8代重賢（1720～85）は、藩政改革や教育改革を行い、名君として「肥後の鳳凰」と呼ばれました。晩年は博物学に熱中し、永青文庫には多くの博物図譜が残されています。「昆虫胥化図」は、幼虫から成虫に変態する様子を緻密に観察し、日付と共に記録したものです。日本初の昆虫生態図鑑と考えられています。本作は、天明9年（1789）に再春館（熊本藩医学校）の鶴田健春が原本に忠実に模写したものです。

■ 展示作品紹介 細川家のこどもたち

永青文庫には、細川家のこどもの肖像画、こども用の小さな能装束、写真など、こどもに関する様々な資料が残されています。藩主が我が子を描いた肖像画や可愛らしい着物からは、細川家のこどもたちの息づかいが感じられます。



図工 とう カメラがないのでお父さんが描きました

なりしげ あきひめぞう
10代細川齊茲「融姫像」

10代齊茲（1759～1835）は、様々な絵師に絵を描かせるほか、明・清の中国絵画を積極的に収集し、自らも絵を描くなど美術趣味の強い大名でした。融姫は齊茲の子ですが、文化10年（1813）2月に生まれ、7月に亡くなっています。齊茲は、猪八郎や考姫など、他の夭折したこどもたちの肖像も描いています。本図でも、ぶくぶくとした愛らしい手足の描写に娘を想う父の眼差しが感じられます。

■ 会期中の催し

こどもと楽しむギャラリートーク

学芸員のトークを聞いてから、貸切で展覧会を楽しむ特別なプログラムです。

日時 2022年8月8日（月）① 10:00～11:00 ② 13:00～14:00 ③ 15:00～16:00

会場 永青文庫

定員 小・中学生と保護者 各回5組10人（先着順） 参加費 保護者の入館料のみ

申込方法 7/29（金）午前11:00より電話（03-3941-0850）にて先着順



近隣のご案内 文京区立 ひごほそかわていえん 肥後細川庭園

肥後細川庭園は、熊本藩主細川家の下屋敷跡で、目白台の自然景観や湧き水を活かした池泉回遊式庭園です。庭園内の「松聲閣」は細川家の学問所と伝えられる建物で、一時期は細川家の住まいとして使用されていました。

お問い合わせ

公益財団法人 永青文庫

〒112-0015 東京都文京区目白台 1-1-1 TEL: 03-3941-0850 FAX: 03-3943-0454

令和4年度夏季展「子どもと楽しむ永青文庫」
2022年7月30日(土)～9月25日(日)

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

ご所属：

TEL：

FAX：

ご住所：〒

E-mail：

掲載予定日： 年 月 日

掲載概要：(コーナー名、画像の掲載サイズなど)

- 読者プレゼント用チケット(5組10名様)ご希望の場合はチェックを付けてください。
※8月25日までにご紹介頂ける場合に限らせて頂きます。 ※チケットはゲラの確認後に送付いたします。

◆ご希望の写真番号に○を付けてください。



- 1、永青文庫外観
- 2、「栗色革包紺糸射向紅威丸胴具足」11代細川齊樹所用、江戸時代(19世紀)、永青文庫蔵(熊本県立美術館寄託)
- 3、「大馬印」9代細川治年所用、江戸時代(18世紀)、永青文庫蔵
- 4、「衛府太刀拵 九曜紋金装」江戸時代(18～19世紀)、永青文庫蔵
- 5、◎重要文化財「織田信長黒印状」細川忠興宛、(天正9年力(1581))2月17日、永青文庫蔵(熊本大学附属図書館寄託)
- 6、◎重要文化財 津田友正作、安井算哲識「天球儀(渾天新図)」寛文13年(1673)、永青文庫蔵
- 7、「昆虫胥化図」8代細川重賢、天明9年(1789)鶴田健春模写、永青文庫蔵
- 8、「菊蒔絵提重」江戸時代(18～19世紀)、永青文庫蔵
- 9、10代細川斉茲「融姫像」文化10年(1813)、永青文庫蔵
- 10、「狂言面 狐」江戸時代(18世紀)、永青文庫蔵
- 11、「狂言面 猿」江戸時代(18世紀)、永青文庫蔵

【広報画像ご使用に際してのお願い】

※画像の使用は、展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。貸与した画像は、使用后速やかに消去願います。

※展覧会名、会期、会場、作品名称、所蔵者を必ずご掲載ください。

※掲載誌は1部ご惠贈願います。

【個人情報の取扱いについて】

※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみ使用いたします。

許可なく第三者に個人情報を開示することはございません。